

三田地山（發）儒者。文化九年十一月十日下野國那須郡黑羽生れ、明治二十六年七月四日歿（八二一九三）。幼名房之助、通稱梅平。黒羽藩七秋庭清房の次男、同藩十三田政武の養子。郷奉行として民政に盡力、また飛地の益子焼を奨励した。女積良齋（女積良齋）の門に入り、大鹽平八郎にも大坂加番扈從中筋專として儒學を研鑽。藩費作新館學頭、維新後は藩公議人を務め、うち私塾地山堂を開いて子弟を教授。

著書に『那須國造碑考』（三田梅平名、明治十一年十月出版、栃木

・倉版）、『日本外史摘解』（郵下珂城校訂、明治十四年四月二十八

日栃木・地山堂藏版、石川治兵衛・瀧田幸一發兌）等。

